

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2017年12月7日 第3314回例会

会 長 青山 佳裕 副 幹 事 山口 元彦
幹 事 関戸 徹 副 会 長 船橋 正員
会長エレクト 榊原 讓 会報委員長 渡邊 肇

プログラム

クラブアッセンブリー
年次総会
次年度理事役員選出

国 歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

12月度のプログラム

7日 クラブアッセンブリー 年次総会
14日 例会変更 クリスマス家族会
21日 会員卓話 佐々木久直君
28日 休会 定款第8条第1節(C)

会員誕生日おめでとう

松田暁昌君(12月 6日) 森 俊夫君(12月 8日)
足立 誠君(12月15日) 近藤文彦君(12月21日)
小島幹人君(12月21日) 大森一人君(12月24日)

会員夫人誕生日おめでとう

石黒敬康君夫人朱 美様(12月 4日)
鴨下昌充君夫人八千代様(12月 6日)
栃倉 勲君夫人寿美子様(12月 9日)
宮田智司君夫人和 泉様(12月11日)
猪子誠兒君夫人千 早様(12月13日)
谷 一夫君夫人きよ子様(12月15日)
桑原英寿君夫人のぞみ様(12月17日)
山下啓介君夫人利 恵様(12月18日)
関戸 徹君夫人佐代子様(12月19日)
西谷 勲君夫人和 様(12月24日)
伊藤光治君夫人幸 子様(12月26日)
松本和徳君夫人道 子様(12月27日)
野杵章夫君夫人恭 代様(12月28日)
滝 善藏君夫人仁 美様(12月28日)

結婚記念日おめでとう

井上義之君(12月 5日)
森 保彦君(12月11日)
梅谷朋志君(12月15日)
谷 一夫君(12月20日)
西谷 勲君(12月24日)
浅井貴裕君(12月25日)

次回の予定

12/14 例会変更 クリスマス家族会
名鉄犬山ホテル
12/21 卓話 佐々木久直君

第3313回例会の記録 2017年11月30日(木)

会長挨拶

青山佳裕

今日はお客様に、猪子副委員長お知り合いの戸松導世様からご紹介いただき、オーストラリア公認国家ガイドの常子IPPさんに「生誕300年、国母と言われたマリアテレシアの業績とその生涯」のテーマで卓話においていただきました。後程よろしくお願ひいたします。

<北緯35度21分の謎>

前回お話に出しました、『北緯35度21分』一列に並んだ不思議なライン東西線上700kmに一割以上の8社ありました。東から、上層国「玉前神社」、中心らの尾張国「真清田神社」、西の出雲国「出雲大社」。その他にも、真清田から真東:尾張富士大宮浅間神社・真西:奥琵琶湖大荒比古神社オオアラヒコ・関ヶ原不破の関合戦場、聖地があります。北緯35度17分29.53秒に位置する真清田の水も聖地としてパワースポットで脚光を浴びるかも。

【若水祭】12月31日午後11時半、本殿西側の井戸「神水舎」で汲んだ若水を本殿に奉納する神祭が行われます。ありがとうございました。

委員会報告

出席報告

委員	伊藤幸一
現在の会員数	107名
本日のビジター	0名
本日の出席数	64名
他クラブ出席数	12名
本日の出席率	71.02%
前々回の出席率	96.73%

ニコボックス

☆ 猪子誠兒君

本日の講師、常子IPPさんを戸松導世さんの紹介にてお招きできた喜びで。

☆ 辰 守弘君

11月23日の勤労感謝の日、新嘗祭で久米舞という神楽が奉納されました。この楽ふが発見されたのは、真清田神社の楽人の発見により今に伝承されることになりました。新聞に大きく報道された喜びで。

☆ 青山佳裕君 関戸 徹君

本日の卓話のスピーカーとして、常子IPPさんをお迎えできた喜びで。

***** プログラム *****

卓話

イップ常子氏

(オーストリア公認国家ガイド)

テーマ「生誕300年、国母と言われた
マリアテレシアの業績とその生涯」



600年以上続いたハプスブルグ帝国の栄光の歴史は、まさに女帝たちの女子力なしに語る事ができません。ウィーンの街は現在もなお、当時の華やかさをそのままに息づいています。生涯に一度は暮らしてみたいと誰しもが願う、世界でも類を見ない貴族的香りを未だにとどめている都市。

今年オーストリア全体がハプスブルグ家一色に染まっています。同家の隆盛を担った皇后たちを記念する行事が至る所で開催中。その絶対的主役の一人は、18世紀の華やかなバロック時代に生きた16人もの子宝にめぐまれたマリアテレシアです。生300年を記念する盛大な、お祝いムードが、ウィーンを始め郊外のゆかりの地、ハプスブルグの宮殿や狩猟の館などで全国的に広がっています。



マリアテレシア

オーストリア歴史上の名君は誰かと問われたら、マリアテレシアと答える人も多いはず。同国家隆盛に抜群の力量を発揮した「女帝」と呼ばれたマリアテレシア(1717～1780)。夫

をしのぐ政治家としてその外交術は後世に語りつがれるほどの卓越したものでした。その上、加えて一人の人間として、妻として、母として、力強く生き抜いた女性です。お腹を休める暇もなく毎年の様に子供を宿しながら、一国の領土を守護し拡大するため、争乱のヨーロッパにあって戦略家としての手腕を発揮。兵学校創立、学校制度の全国普及など、先見の明も見事です。夫をこよなく愛し、また16人もの子供達一人一人に心寄せながら、家族中心主義を貫く女性の鑑です。



上記でも述べた通り、まさに彼女の外交術とは後世に語り継がれるほど卓越したものでした。それは突然襲った父皇帝カール6世の死後、最後のハプスブルグ家の男系となり、国事証書に基づいて若き23歳のマリアテレシアがハプスブルグ家の統治者となり1740年11月22日忠誠の誓いの儀式が開催。しかし、すでにバイエルンやプロイセンなどの他国ではマリアテレシアの統治者としての就任に批判し、シレージエンに兵を送り込み、その地を占領、その後彼女の外交政策とはまずハンガリーの女王としての戴冠式、その後、ハンガリーから軍隊の援助。これは有名なエピソードですが、女性の特権、彼女の演技です。それは生まれたばかりの王子を抱き、ハンガリー貴族の前に現れ「この私を助けてください」と一人の女性として、妻として、母として生き抜いた外交です。

その後のボヘミア女王として戴冠、夫、皇帝フランツ1世崩御後の長男、皇帝ヨーゼフ2世との共同政権、彼女は政治家として晩年まで国家政策の改善に最善を尽くし、どうすれば、国民一人一人が幸せに暮らす事が出来るかを願っていたのです。

国母として親しまれた彼女の行き方は、幸せな結婚生活を続けながらも自立して働く女性のモデルとして、現在もなお、多くの女性たちの憧憬の的となっています。

例会変更案内(12:00～12:30 受付)

クラブ名	例会日	例会場	受付
尾西	12月18日(月)	尾西信用金庫本店	有
あま	12月18日(月)	名鉄グランドホテル11階	有
一宮中央	12月20日(水)	一宮商工会議所ビル1階 (17:30～18:00)	有
津島	12月1日(金)	ツシマウール会館	有